

学校を飛び出して、
地元で活躍するオトナを取材しよう！

人と繋がれる 古民家カフェ

カフェシフォン
代表 佐村有希さん



池田町の古民家でカフェを開業しているカフェシフォン代表の佐村有希さんに、カフェを始めるきっかけや想い、今後の夢などについて詳しく伺いました。

Q…カフェシフォンのオープンはいつですか？

二〇二二年の十一月にオープンしました。

最初はカフェメニューとして、手作りのパンとシフォンケーキ、お菓子を。ランチとして、手羽先と牛すじ煮込みカレーを出していました。

カフェの名前をどうするか、オープンするまでずっと悩んでいたんです。シフォンケーキを出すし、ふわふわした感じが癒しになるというイメージでカフェシフォンという名前にしました。

Q…佐村さんは池田町のご出身ですか？

出身は大垣なんです。もともと池田温泉が大好きだったので池田町にはよく来てたんですよ。

ある日、池田町に嫁いだ友人が「壊して駐車場にするかもしれない古民家があるけど、住んでみない？」ってこの家を紹介してくれたんです。とても魅力を感じて、まずは一年間住んでみることにしました。暮らしていくうちに近所の方が優しくて、家もアンティークで暮らしやすく、「この家を買って住みたい」と思いました。

Q…なぜ住むだけでなく、カフェを開業しようと思ったのですか？

もともとカフェが好きでよく通ったり、カフェで働いていた経験もありました。また、アンティークなどの古い小物をよく集めていたんです。そこで、お客様に自分の経営するカフェで自

に無人販売をしています。

Q…経営していく上で一番大切にしていることはなんですか？

食品面では、異物混入しないように気を付けています。暑い時期だとカビも発生しやすいので、その点も気を付けています。掃除も行き届かないことがあります。また、お客様にはお店の経営内容などなるべく伝えるようにしています。

接客では、お客様が何を伝えたいのかを考えて会話しています。売って終わりというだけではなく、私自身もおしゃべりをしながら一緒に楽しませてもらっています。

Q…カフェをオープンするまでのエピソードを教えてください。

開業費用をできるだけ抑えたいと思っていたのに、ショーケースを買ったら壊れて届いたこともあったんです。お金がどんどん減っていくのが不安でした。あと、お客様が来てくれるのかも心配でした。チラシを作っただけで、結局は使わなかったんです。あと、SNSに日々のことを投稿して



いたんです。その時に仲良かった行政書士さんから、県庁近くにあるよろず支援拠点さんを紹介してもらったんです。そこで相談して、カフェをや

ろうという気持ちになりましたね。

お金やコロナの不安もありましたが、SNSもよろず支援拠点さんにも、カフェを開業する上で必要なことを沢山教えてもらいました。

Q…外に貼ってあるマッサージや占いなどのイベントは、どのようにして行われているのですか？

カフェに来てくれたお客様が「ここでイベントをやりたい」と声をかけてくださったたり、「この空間を借りたい」という方々が自然と集まって、イベントをするようになりました。

そこからいろいろなご縁が繋がっていったんです。無人販売に来てくださる方が、「何やっているのかな」と興味持って見ていただけたりいいなという思いもあって続いています。

Q…これからお店をどうしていきたいですか？

今来てくれている常連さんがずっと来てくださるカフェにしたいです。最近では、イベントを通して、お客様同士が仲良くなったたりすることも増えてきたんです。挨拶が飛び交う温かい雰囲気のカフェもとても懂れます。お客様同士の繋がりがどんどん広がっていくのを見ると、嬉しくなります。

Q…最後に私たち高校生にメッセージをお願いします。

ピュアなままできてほしいですね。でも、変な人には騙されないでほしいなと思います。実は私、若い時は人のことを凄く信用してしまうタイプだったので「あんまり人を信じないように気を付けなよ」と言われていました。

分の好きなものを見てほしいなと思ったんです。それと以前、カフェで自分の作ったデザートを出したことがあるんですよ。手作りのものをお客様に美味しいって言ってもらえたら、自分自身も癒されるのでそれもいいなと思って。



また、大家さんや周りの方が応援してくださったことが後押しになり、カフェをやるうと決意しました。

Q…カフェで提供しているシフォンケーキやパンは手作りなんですか？

はい、なるべく手作りにこだわっています。材料に凄くこだわっているわけではないですけどね。例えば、パンの生地も粉から作っているんですよ。生地の発酵には、祖父に作ってもらった木の箱を使っているんです。なので温度とか湿度とかでちよつと焼き加減が変わったりしています。

Q…無人販売をしているとインスタグラムで見たのですが、なぜ無人販売をしているのですか？

最初は、会社に勤めながらカフェをやっていたので、日曜日だけの営業でした。その時にお客様から「平日もパンが欲しいわ」と声をかけていただいたんです。ですが、平日は会社に行くので営業できなかったんです。だから、棚にパンなどを置き、牛乳配達ボックスを貯金箱のようにして、無人販売コーナーを作ったんです。すると、それが面白かったみたいで、結構お客様が来てくださって私も嬉しかったです。今は木曜日と土曜日

だからこそ安心していただきたいのですが、うちのカフェは本当にいい人ばかりで、癒される空間になっていきます。孤独は人との関わりがないから生まれると思うので、SNSなどで誰かと繋がってほしいですね。

ただ、「この人は合わないかも」って思ったら、無理に付き合わなくていいんです。大事にしたい人を大切にしたいってほしいんです。人間関係が変わると人生も変わるんですよ。これからも親切的な気持ちを持ち続けてください。



【感想】

取材の中で印象に残ったのは、佐村さんがとても温かい雰囲気でお客様を迎えていることです。お客様の居心地の良さは空間だけでなく、そこにいる方の優しさから生まれているのだと思います。取材を通して感じたカフェシフォンの魅力は、この記事を読む皆様にも体験してほしいです。コーヒーマシーンやスイーツを楽しむだけでなく、人と人が繋がれる会話からも温かさを感じられるはずです。